

【第2回 災害対策本部会議】 9月18日

佐賀地方气象台／台風14号は、15時現在、指宿市の南の海上にあり、北北西に時速20kmの速さで進んでいる。中心気圧は930hPa、中心付近の最大風速は45m、大型で非常に強い。

現在、特別警報級の台風だが、今後北上するに従い多少勢力は落ちる。21時以降は940hPaになるため、特別警報の指標は満たさない。

15時発表の資料では、佐賀県に最も接近する19日9時に945hPa、最大風速40mを予測。勢力は、「非常に強い」から「強い勢力」に変わる。陸上での最大風速は30m。これは、走行中のトラックが横転したり、細い木が折れたりする。特別警報でなくても、警戒を怠らないよう、引き続き厳重な警戒をお願いする。

最新の解析では、本日夕方の時間帯に暴風域に入り、最接近は明け方、暴風域を出るのが19日12時から15時とみている。

今夜遅くから60mm以上の非常に激しい雨を予想。ピークは台風の最接近時とみている。24時間の降水量は多いところで300mm、19日の18時以降は50mm～100mm。台風が抜けたあとの降水量は少ない。

風は、北部沿岸で30m、19日朝に35m。有明海で40m、19日に45m。陸上では、南部が30m、北部25mと予想。

波は、唐津でうねりを伴い7m、有明海で4m。

高潮は、有明海側で、未明から高潮警報に達する潮位になると予想。北部は注意報を見込んでいる。

知事／特別警報は、ほぼないのか、全くあり得ないのか。

佐賀地方气象台／上陸することと、乾燥した空気が北から入ってくるため弱まる。特別警報には達しないが、警戒は十分に必要だ。

知事／進路は、東にずれたのか。

佐賀地方气象台／予報円の回転では、それほどずれていない。

知事／第1回目の会議で停電地域の話があり、確認すると予報円の東側に停電が多い。佐賀県も東側が停電する危険性があるのか。

佐賀地方气象台／台風は反時計回りに風が吹く。現在、佐賀県を含む西側地域の風は弱いですが、接近するに従い南部・北部ともに風向きは違うが風は強まる。

危機管理防災課長／15時現在、被害の報告はない。

市町の警戒態勢は、災害対策本部の設置が6市町、災害警戒本部設置が3市、連絡室設置が11市町。

避難指示を出している市町は10市町、高齢者等避難は10市町。

県内すべての20市町に避難所が開設されている。避難所数は211か所。15時時点の避難者数は、2,355世帯3,900人。

台風の影響を先に受ける鹿児島県、熊本県、宮崎県、長崎県の状況は、人的・物的被害は鹿児島県のみ。風にあおられて転倒したり、商業施設のガラスが割れたり強風に起因する被害がでている。台風が進む東側の風が強いため、今後も強風に注意していく。

南里副知事／避難所は、通常開いているところが開設しているという理解でいいのか。今後、暗くなるため移動のリスクがある。そのあたりの状況を。

危機管理防災課長／全市町で避難所を開設し、今後も増える見込み。各市町の防災無線を通じて、暗くなる前に避難するよう呼びかけている。

九州電力／現在、九州管内では合計12万5,000戸の停電が発生している。なかでも鹿児島県と宮崎県が大半を占めている。停電していないのは、佐賀県と福岡県のみ。

台風が抜けた奄美諸島では巡視を開始。倒木による停電、電線が3条、風で混線する被害が発生している。

県土整備部長／会議資料の記載より、道路の通行止めがさらに増えている。長崎自動車道佐賀大和インターから長崎インターまで、西九州自動車道佐世保中央インターから武雄ジャンクションまで、有明沿岸道路三池港インターチェンジから大野島インターチェンジまでが、16時に通行止めになった。有明沿岸道路嘉瀬南インターチェンジから福富インターチェンジまでは、17時から通行止めの予定。

今後、通行止めの区間が増える可能性がある。やむを得ず移動する場合は、道路情報に留意し、注意して車の移動をお願いする。

農林水産部長／農道の通行規制は、多良岳オレンジ海道が鹿島市側で全面通行止め。太良方面は、国道207号線が越波した際の代替道路として通行を許可しているが、役場から町民に注意喚起している。

引き続き、市町と連絡を取り、危険な場所は躊躇なく通行止めにする。

健康福祉部長／医療機関、福祉施設に被害はない。自宅療養支援センターは、自宅療養者が避難する場合、市町が設けている自宅療養者用の避難施設を利用するよう、あらかじめ市町に確認をする旨のショートメールを送っている。

知事／コロナの入院者やホテル療養者へのフォローもしっかりと。自宅で孤立しないよう、何かあったら連絡するよう呼びかけるように。

政策部長／災害対策本部の設置に伴い、災害相談コールセンターを設置した。被害状況、避難情報に関すること、ライフライン、公共交通機関に関すること、気象等に関することなど24時間対応で相談を受ける。

危機管理防災課長／本県は、13時30分をもって全市町に対し災害救助法を適用した。昨年、法改正があり、災害の恐れがある時点で国が特別対策本部を設置した場合に、県も対策本部を設置すると、災害救助法の適用ができるという内容。適用の範囲は、避難所設置に係る費用。

今回は、大型で非常に強い台風の接近で適用された。これにより、市町で発生した避難所に係る費用は、国と県が負担する。

知事／災害救助法という名前から判断しにくいですが、市町が安心して避難所の設置ができる仕組み。通常、台風が来る前に避難所の設置をするために、事前に対策本部をつくった場合は、災害救助法を発動していいということ。何かが起こったので災害救助法を発動したのではないと、共有しておきたい。

佐賀県警／14時までの110番の状況は、午前中に鹿島市で信号が滅灯していると通報があり、既に復旧した。ただ、台風との関係は不明。ほかの災害関係の110番はない。

佐賀広域消防局／管内での災害は発生していない。電線がスパークした、ドアが閉まらない、自動火災報知機が発報したなど警戒で7件出動した。

自衛隊／西部方面構成団の連絡監部です。現在、情報収集中。

九州地方整備局／県内の直轄の道路、河川等で災害等被害はない。各事務所で災害の支部を立ち上げ監視する。

航空自衛隊／福岡県春日市にある西部航空方面隊から、各県に対し連絡監部を派遣し情報収集活動を行っている。

海上自衛隊／佐世保地方総監部として、各県に連絡監部を派遣し情報収集をしている。

知事／この災害対策本部は、非常に強い台風に備えた事前対策本部。実働部隊のリエゾンの皆さんにもお越しいただき、起きるかもしれない対策のために情報共有する会議体になっている。

台風は、当初の予定より若干弱まる予測になり、佐賀県に特別警報が出る可能性が低くなった。しかし、今夜暴風圏に入り、強風が予測されるので、この会議を夜にもう一度開く。

県民の皆さんは、夜には強風になるので、日没後は外出しないように。また、できる限り頑丈な建物にいてほしい。日没前にその判断をし、行動に移すことが大事になってくる。倒木が原因の停電は、なかなか復旧しないことがあるので、停電に備えてください。

本日の新型コロナウイルス感染者は 343 人。26 日連続で、前週の同じ曜日を下回っている。コロナを気にするあまり、避難を躊躇することなく、命を第一に行動してほしい。